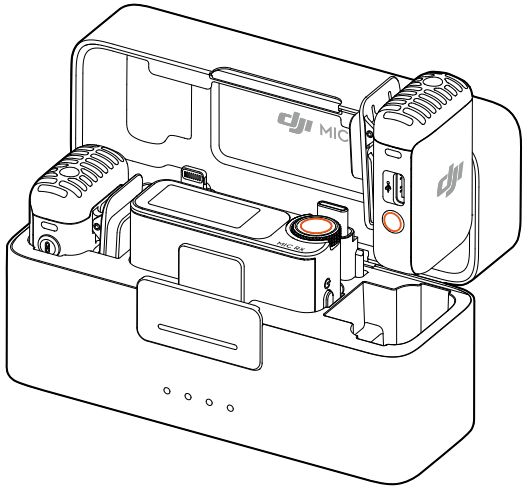
# DJI MIC 2

## ユーザーマニュアル

v1.0 2024.01



本書は、不許複製・禁無断転載を原則とする DJI の著作物です。DJI から別途許可されていない限り、本書の複製、譲渡、販売を行ったり、本書または本書の一部を使用したり、他の人に使用を許可したりすることはできません。ユーザーは、本書とその内容を DJI 製品の操作に関する指示を参照する目的にのみ使用してください。本書を他の目的で使用しないでください。

### キーワードの検索

「バッテリー」や「取り付け」などのキーワードを検索して、トピックを探すことができます。Adobe Acrobat Reader を使用して本書をお読みの場合、Windows では Ctrl+F、Mac では Command+F を押して検索を開始できます。

### 任意のトピックへの移動

目次のトピック一覧をご覧ください。トピックをクリックすると、そのセクションに移動します。

### 本書の印刷

本書は高解像度印刷に対応しています。

 © 2024 DJI All Rights Reserved.

# 本マニュアルの使用方法

## 凡例

⚠ 重要　　ヒントとコツ

## ご使用前にお読みください

DJI™ Mic 2 を使用する前に、以下の資料をお読みください。

1. 安全ガイドライン
2. クイックスタートガイド
3. ユーザーマニュアル

初めて使用する前に、チュートリアル動画をすべて視聴し、安全に関するガイドラインをお読み頂くことをお勧めします。初めて使用する前に、必ずクイックスタートガイドを確認し、詳細についてはユーザーマニュアルを参照してください。

© 2024 DJI All Rights Reserved. 

# 目次


本マニュアルの使用方法 3
凡例 3
ご使用前にお読みください 3
目次 4
はじめに 5
DJI Mic 2 トランスミッター 5
概要 5
LED 情報 6
DJI Mic 2 レシーバー 8
DJI Mic 2 充電ケース 9
操作 10
トランスミッターの取り付け 10
トランスミッターとレシーバーのリンク 11
カメラでの使用 13
モバイル端末での使用 14
パソコンでの使用 15
レシーバータッチ画面操作 16
ホーム画面 16
下にスワイプ - 操作メニュー 18
上へスワイプ - トランスミッターの制御 21
トランスミッターの Bluetooth 端末への接続 22
トランスミッター用スタンドアロン録音 23
メンテナンス 24
バッテリーの充電 24
DJI Mic 2 充電ケースでの充電 24
トランスミッターとレシーバーの充電 24
DJI Mic 2 の保管 24
ファームウェア更新 25
アクセサリー（別売） 26
DJI ラベリアマイク 26
仕様 27


 © 2024 DJI All Rights Reserved.

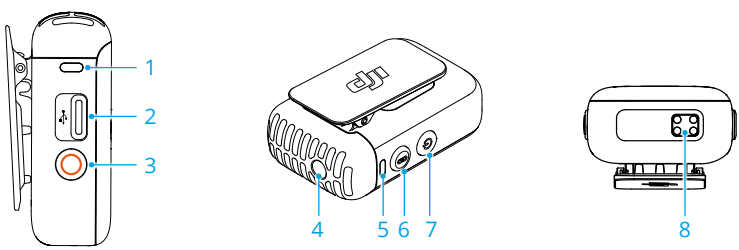
# はじめに

DJI Mic 2 は、2 つのトランスミッターと 1 つのレシーバーを含むデュアルチャンネル無線マイクシステムで、2 つの音源を同時に録音できます。各トランスミッターは全方向性マイク内蔵で、Bluetooth 経由で DJI Osmo Pocket 3 や携帯電話などの機器に接続でき、スタンドアロン録音とインテリジェントノイズキャンセリングに対応しています。このトランスミッターは、携帯しやすいクリップを装備しており、外部マイクに対応しているため、カメラ外での録音ニーズに対応しながら、音質を向上させます。

レシーバーには OLED タッチス画面が搭載されており、ユーザーはリアルタイムの音量レベル、無線信号強度、ゲイン、録音モードなどを確認できます。拡張ポートを使用することで、レシーバーをカメラやモバイル端末に接続して高音質の音声をキャプチャしたり、パソコンに接続したときにマイクとして使用したりすることができます。さらに、レシーバーの独立したモニターポートにより、リアルタイムの音声調整が可能です。付属の充電ケースは、トランスミッターとレシーバーを同時に充電し、双方を自動的にリンクすることができます。

## DJI Mic 2 トランスミッター

### 概要




1. 録音ステータス LED
   トランスミッターの録音状態を表示します。
2. データポート (USB-C)
   パソコンに接続して、音声のコピー、ファームウェアの更新ができます。充電にも使用できます。
3. 録音ボタン
   1 回押すと、スタンドアロン録音モードで録音を開始／停止します。
   ボタンを 3 秒間長押しして、DJI Mic 2 レシーバーまたは Bluetooth を切り替えます。
4. 3.5 mmTRS 入力部
   外部マイク接続用です。24 V または 48 V の電源のマイクは絶対に接続しないでください。
5. システムステータス LED
   トランスミッターのシステムステータスを表示します。

© 2024 DJI All Rights Reserved. 

6. リンクボタン

   2 秒間長押しすると、Bluetooth を介してレシーバーまたはモバイル端末へのリンクが開始されます。モバイル端末に接続されている場合は、1 回押すと写真を撮影したり、録画を開始または停止したりできます。音量ボタンを使用して写真を撮影したり、動画を開始および停止したりできるモバイル端末のみがサポートされていることに注意してください。

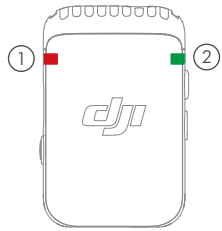
7. 電源ボタン

   2 秒間長押しすると、電源がオン／オフになります。1 回押すと、ノイズ低減が有効／無効になります。

8. 充電パッド

   トランスミッターの充電パッドが DJI Mic 2 充電ケースの充電ピンに接続されると、充電が開始されます。

## LED 情報




### ①録音ステータス LED

| 点滅パターン | | 説明 |
|---|---|---|
| —— | 赤色点灯 | トランスミッターは単独で録音しています。 |
| — | 赤色点滅 | トランスミッターはミュートされています。 |
| | オフ | トランスミッターは単独で録音していません。 |

### ②システムステータス LED

| 点滅パターン | | 説明 |
|---|---|---|
| **DJI Mic 2 レシーバーとのリンク状態** | | |
| —— | 緑色点灯 | レシーバーにリンクされています |
| ····· | ゆっくりと緑色点滅 | レシーバーにリンクされていません |
| ····· | すばやく緑色点滅 | リンク中 |
| **Bluetooth 経由のリンク状態** | | |
| —— | 青色点灯 | Bluetooth デバイスにリンクされています |

 © 2024 DJI All Rights Reserved.

| | | |
|---|---|---|
| ····· | ゆっくりと青色点滅 | Bluetooth デバイスにリンクされていません |
| ····· | すばやく青色点滅 | リンク中 |

**ノイズ低減**

| | | |
|---|---|---|
| —— | 黄色点灯 | トランスミッターが DJI Mic 2 レシーバーまたは他の Bluetooth デバイスに接続されているときに、ノイズ低減が有効になっています。 |
| ····· | 黄色点滅 | トランスミッターが DJI Mic 2 レシーバーまたは他の Bluetooth デバイスに接続されていないときに、ノイズ低減が有効になっています。 |

**バッテリー残量の説明**

| | | |
|---|---|---|
| —— | 赤色点灯 | 0 ～ 10% |

**充電中のバッテリー残量**

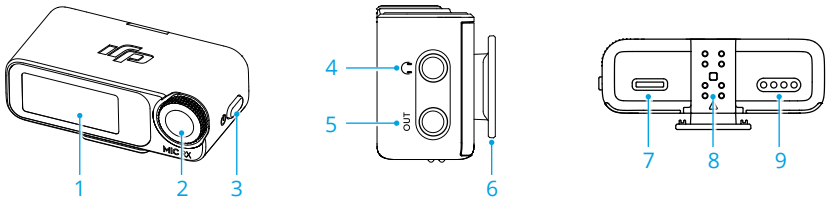
| | | |
|---|---|---|
| · · | ゆっくりと緑色点滅 | 0 ～ 25% |
| ·· ·· | 緑色 2 回点滅 | 26 ～ 50% |
| ··· ··· | 緑色 3 回点滅 | 51 ～ 75% |
| ···· ···· | 緑色 4 回点滅 | 76 ～ 100% |
| | オフ | 完全に充電されています |

**ファームウェアの更新**

| | | |
|---|---|---|
| | 赤色と緑色に交互に点滅 | ファームウェアの更新中 |

© 2024 DJI All Rights Reserved. 

## DJI Mic 2 レシーバー




1. タッチ画面

   リアルタイムの音量レベル、レシーバーとトランスミッターのバッテリー残量、充電状態、無線信号強度、ゲイン、録音モードなどの情報を表示します。画面を上下にスワイプして設定にアクセスします。詳細については、「レシーバーのタッチ画面操作」を参照してください。

2. ダイヤル

   レシーバーがホーム画面に表示されているときに 1 回押してから回して、トランスミッターまたはレシーバーのゲインを調整します。画面上部から下にスワイプすると、操作メニューに入ります。ダイヤルを回して押し、該当する設定を選択して確定します。

3. 電源ボタン

   長押しすると、電源がオン／オフになります。1 回押すと、画面がロックまたはロック解除されます。レシーバー画面がホーム画面に表示されていないときは、電源ボタンを 1 回押してホーム画面に戻ります。

4. モニターポート

   3.5mm TRS ヘッドフォンを接続して、トランスミッターの音質を監視します。

5. 3.5 mm TRS 出力部

   オーディオ出力用。

6. レシーバーコールドシュー

   カメラのコールドシュー／ホットシューにレシーバーを取り付けるために使用。

7. データポート (USB-C)

   パソコンに接続した後、データポートを使用してファームウェアを更新したり、トランスミッターとペアリングした場合にパソコンのマイクとして使用したりできます。データポートは充電にも使用できます。

8. 拡張ポート

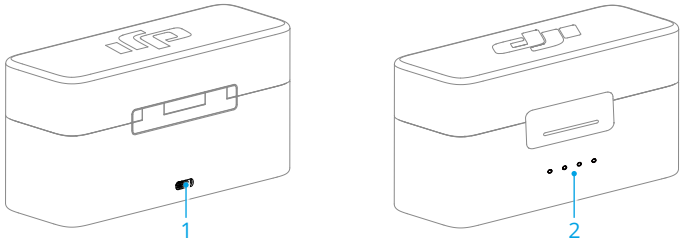
   モバイル端末アダプターを拡張ポートに挿入することで、レシーバーをモバイル端末に接続できます。レシーバーは、ホットシューアダプターを介して拡張ポートに接続することで、カメラに接続できます。

9. 充電パッド

   レシーバーの充電パッドが DJI Mic 2 充電ケースの充電ピンに接続されると、充電が開始されます。

 © 2024 DJI All Rights Reserved.

## DJI Mic 2 充電ケース




1. 充電ポート (USB-C)
   USB-C チェンジャーへの接続用。
2. バッテリー残量 LED
   充電ケースのバッテリー残量を表示します。詳細については、以下の表を参照してください。

充電ケースのバッテリー残量を表示します。
● LED が点灯　☼ LED が点滅
○ LED が消灯

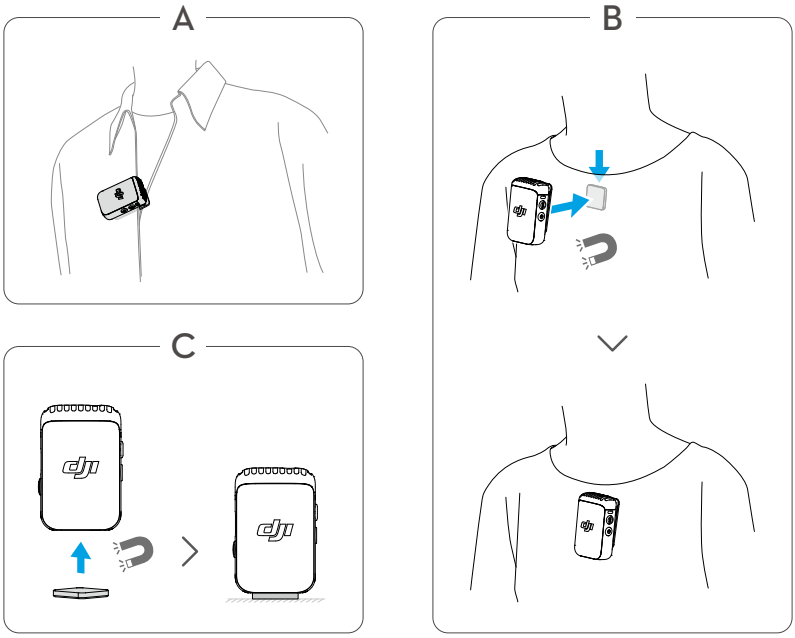
| LED1 | LED2 | LED3 | LED4 | 充電中のバッテリー残量（LED が順番に点滅） |
|---|---|---|---|---|
| ☼ | ☼ | ☼ | ☼ | 76 ～ 99% |
| ☼ | ☼ | ☼ | ○ | 51 ～ 75% |
| ☼ | ☼ | ○ | ○ | 26 ～ 50% |
| ☼ | ○ | ○ | ○ | ≤25% |
| ● | ● | ● | ● | 完全に充電されている（電源オフ） |
| LED1 | LED2 | LED3 | LED4 | バッテリー残量 |
| ● | ● | ● | ● | 76 ～ 100% |
| ● | ● | ● | ○ | 51 ～ 75% |
| ● | ● | ○ | ○ | 26 ～ 50% |
| ● | ○ | ○ | ○ | 10 ～ 25% |
| ☼ | ○ | ○ | ○ | <10% |

© 2024 DJI All Rights Reserved. 

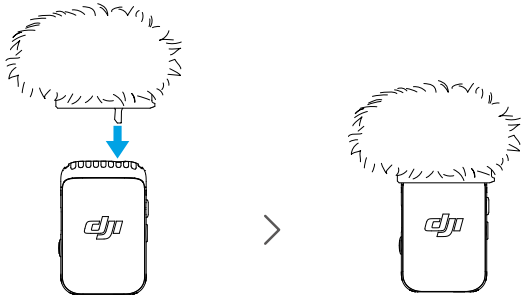
# 操作

## トランスミッターの取り付け

トランスミッターはマグネットを使用して衣服に取り付けることも、安定した面に直立させることもできます。クリップを使用してトランスミッターを衣服に取り付けることもできます。




屋外または風の強い環境でトランスミッターを使用する場合は、ウィンドスクリーンを使用することをお勧めします。ウィンドスクリーンをトランスミッターに取り付けるには、まずウィンドスクリーンを内蔵マイクに合わせてから、ウィンドスクリーンをしっかりと押し下げて取り付けます。

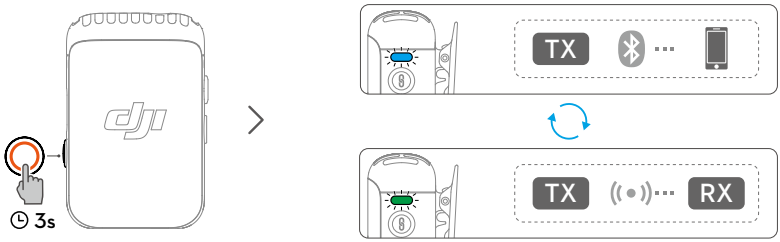


 © 2024 DJI All Rights Reserved.

## トランスミッターとレシーバーのリンク

DJI Mic 2（2 TX + 1 RX + 充電ケース）コンボと DJI Mic 2 (1 TX + 1 RX) コンボでは、トランスミッターとレシーバーはデフォルトでリンクされています。トランスミッターとレシーバーがリンク解除された場合は、以下の手順に従ってリンクします。トランスミッターとレシーバーは、充電ケースに入れることで自動的にリンクすることも、手動でリンクすることもできます。

- リンクする前に、トランスミッターがレシーバーとのリンクモードになっていることを確認してください。このモードでは、システムステータス LED がゆっくり緑色に点滅します。トランスミッターのシステムステータス LED が青色に点滅するとトランスミッターは Bluetooth リンクモードになります。
- 録音ボタンを 3 秒間長押しして、DJI Mic 2 レシーバーまたは Bluetooth を切り替えます。



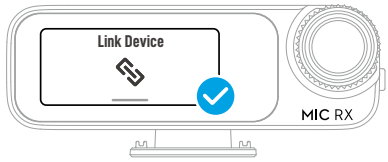

### 方法 1：充電ケースで自動的にリンク

トランスミッターとレシーバーを充電ケースに入れると、自動的にリンクします。

© 2024 DJI All Rights Reserved. 

## 方法 2：手動によるリンク

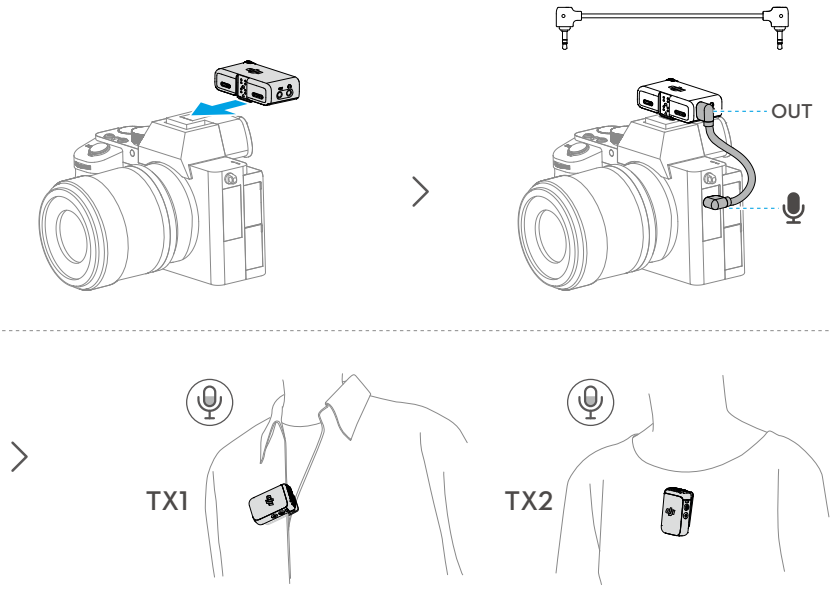
1. トランスミッターのシステムステータス LED が緑色にゆっくり点滅したら、トランスミッターのリンクボタンを 2 秒間長押しします。その後、トランスミッターは近くのレシーバーの検索を開始します。
2. レシーバー画面を下にスワイプし、[ レシーバー設定 ]>[ デバイスをリンク ] を選択し、[ リンク ] をタップしてリンクを開始します。トランスミッターは、システムステータス LED が緑色に点灯するとレシーバーにリンクされます。ユーザーは、レシーバーインターフェイス上でトランスミッターの状態を表示できます。




 © 2024 DJI All Rights Reserved.

## カメラでの使用

音声を録音してカメラに送信するには、レシーバーのコールドシューを使用してレシーバーをカメラに接続し、次に示すように付属のカメラケーブルを使用してレシーバーをカメラのマイクポートに接続します。

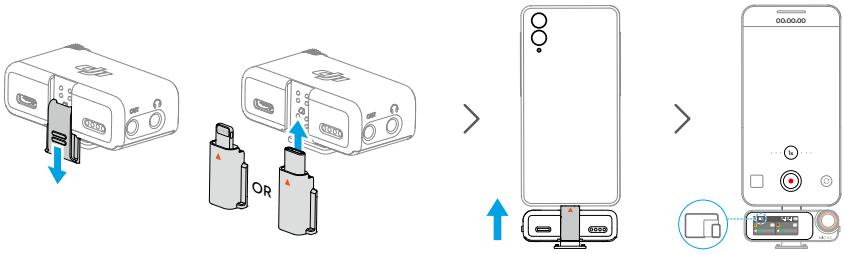



- カメラでマイクを使用する場合は、レシーバーのゲインを上げ、カメラのゲインを下げて音声キャプチャを強化することをお勧めします。詳細については、「カメラ設定の推奨ゲイン」の説明を参照してください。

© 2024 DJI All Rights Reserved. 

## モバイル端末での使用

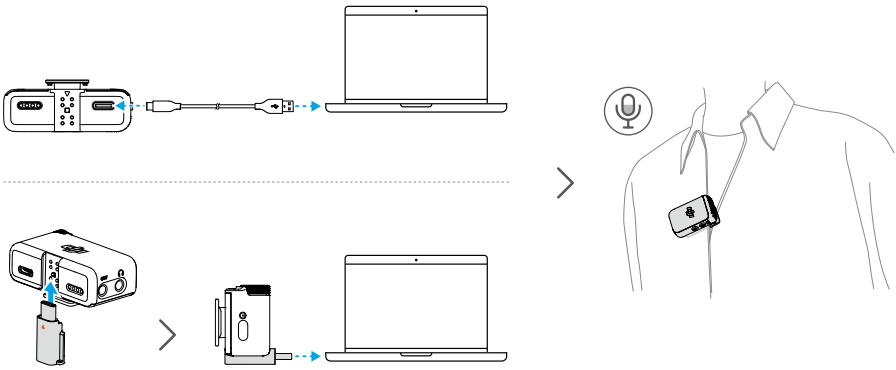
モバイル端末アダプターを使用してレシーバーをモバイル端末に接続することにより、音声を録音してモバイル端末に送信します。



 © 2024 DJI All Rights Reserved.

## パソコンでの使用

トランスミッターをマイクとして使用するには、レシーバーを USB-C ポート経由でパソコンに接続します。

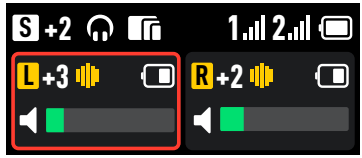


- 標準の充電ケーブルまたは DJI Mic 2 携帯電話アダプター (Type-C) を使用して DJI Mic 2 をパソコンに接続し、関連する設定の音声入力設定を入力します。
- レシーバーをデータストレージに使用しないでください。ストレージに使用すると、データが失われる可能性があります。

© 2024 DJI All Rights Reserved. 

## レシーバータッチ画面操作

タッチ画面には、リアルタイムの音量レベル、レシーバーとトランスミッターのバッテリー残量、充電状態、無線信号強度、ゲイン、録音モードなどの情報を表示します。タッチス画面の表示は、異なる端末にリンクされている場合に異なる場合があります。この画面はあくまで参考用です。以下は、レシーバーが同時に 2 つのトランスミッターにリンクされている場合の表示例です。




### ホーム画面

**画面の上部には、レシーバーの状態が表示されます。**

| | |
|---|---|
| S | 録音モードを表示します。タップして、S（ステレオ）、M（モノラル）、MS（セーフティトラック）から選択します。 |
| +2 | レシーバーゲインを示します。 |
| | 外部ヘッドフォンが接続されていることを示します。 |
| | モバイル端末やパソコンなどの端末機器が接続されていることを示します。 |
| | レシーバーがホットシューアダプターを介してカメラに接続されていることを示します。 |
| A7S3 | 選択されているカメラモデルを表示します。 |
| 32BF | トランスミッターの電源がオンになって、音声ファイルを 32 ビットフロートで単独で録音できることを示します。 |
| 1 2 | トランスミッターとレシーバー間の無線信号強度を示します。 |
| | レシーバーのバッテリー残量を示します。 |
| | レシーバー画面がロックされていることを示します。 |

 © 2024 DJI All Rights Reserved.

**画面の中央には、トランスミッターの状態が表示されます。**

| | |
|---|---|
| L R | サウンドチャンネルを示します。 |
| +2 | トランスミッターゲインを示します。 |
| | ノイズ低減が有効になっていることを示します。 |
| | トランスミッターが単独で録音していることを示します。 |
| | トランスミッターのバッテリー残量を示します。 |

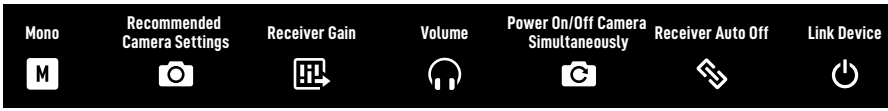
**画面の下部には、リアルタイムの音量を表示します。**

| | |
|---|---|
| | トランスミッターの内蔵マイクからの音量。 |
| | トランスミッターはミュートされています。 |
| | トランスミッターに接続されている外部マイクからの音量。 |
| | トランスミッターに接続されている外部マイクがミュートされています。 |

© 2024 DJI All Rights Reserved. 

## 下にスワイプ - 操作メニュー

### レシーバー設定




**録音モード**
モノラル：レシーバーの左右チャネル出力が同一であることを表示します。
セーフティトラック：モノラルを使用する場合と同様に、露出オーバーを防ぐために、右チャンネルの出力ゲインは左チャンネルの出力ゲインより 6 dB 低くなります。
ステレオ：ステレオモードでは、オーディオは左右のチャンネルに分かれます。

**推奨されるカメラ設定**
タップしてカメラのブランドとモデルを選択すると、レシーバーがレシーバーゲインに最適なように自動的に設定されます。プリセットされたレシーバーゲインは、カメラによって内蔵マイクゲインが異なることによって生じる収音効果の低下を軽減するのに役立ちます。

**レシーバーゲイン**
[ レシーバーゲイン ] スライダーをタップして開き、スライダーを動かしてレシーバー出力ゲインを調整します。

**音量**
タップして音量スライダーを開き、スライダーを動かしてモニタリング音量を調整します。

**カメラの電源オン／オフ同時操作**
有効にすると、3.5mm TRS ケーブルを介してカメラに接続されたときに、レシーバーの電源が自動的にオン／オフになります。レシーバーの電源は、カメラと同期して自動的にオンになります。カメラの電源がオフになっている場合、または選択した撮影モードで音声が録音されない場合は、レシーバーの電源が自動的にオフになります。この機能により、音声録音の体験が向上し、レシーバーの電源がオフになっていない場合に電力を節約できます。

**レシーバー自動オフ**
有効にすると、レシーバーは 30 分以内にトランスミッターにリンクされていない場合、30 分間使用されなかった場合に自動的にシャットダウンします。

**デバイスをリンク**
タップしてレシーバーをトランスミッターとリンクします。[ デバイスをリンク ] をタップすると、以前にリンクされていたデバイスは忘れられることに注意してください。

 © 2024 DJI All Rights Reserved.

## トランスミッターの設定

**ローカット**
有効にすると、トランスミッターは自動的に低周波音（100 Hz 以下）をフィルタリングし、低周波ノイズを低減してよりクリーンな録音を行います。

**トランスミッターのゲイン**
トランスミッター入力ゲインを調整します。タップして、リアルタイムの音量に応じてトランスミッターの入力ゲインを調整します。音量バーが赤くなったら、それに応じてゲインを下げます。トランスミッターのゲインを調整すると、ローカルの録音音量に影響します。

**32 ビットフロート録音**
有効にすると、トランスミッターは音声ファイルを 32 ビットフロートで単独で録音できます。そのため、オーディオのポスト編集でより広いダイナミックレンジを提供します。32 ビットフロートでの音声ファイルの録音が有効になっている場合、トランスミッターの録音時間は短くなることに注意してください。

**REC 停止ロック**
有効にすると、ユーザーは録音ボタンを使用してトランスミッターのスタンドアロン録音を停止することはできません。

**自動録音**
有効にすると、トランスミッターの電源がオンになるか充電ケースから取り出されるとすぐに、トランスミッターは自動的に単独で録音を開始します。

**ストレージ**
タップすると、トランスミッター 1 と 2 の単独の録音可能時間と、トランスミッターのフォーマットオプションを表示します。

**振動通知**
有効にすると、トランスミッターは対応するアクションがトリガーされたときに振動通知を生成します。
- 電源オン：短く振動。
- 電源オフ：より長く振動。
- 単独で録音開始：短く振動。
- 単独で録音停止：2 回振動。
- ノイズ低減の有効化／無効化：短く振動。
- トランスミッターのミュート／ミュート解除：短く振動。

**LED インジケーター**
有効にすると、トランスミッターの録音ステータス LED とシステムステータス LED が正常に点滅します。無効にすると、両方のステータス LED ライトがオフになります。

© 2024 DJI All Rights Reserved. 

## 設定

**明るさ**
タップしてスライダーを移動して明るさを調整します。

**言語**
タップすると、言語を設定できます。

**日付／時刻**
録音ファイルの日付と時刻を設定します。

**工場出荷時の設定に戻す**
タップしてデフォルト設定にリセットします。これにより、現在の設定がすべて削除されます。レシーバーは工場出荷時の設定にリセットされ、再起動されます。

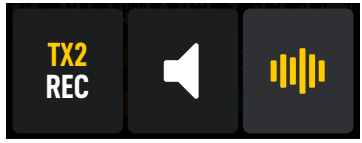
**バージョン**
タップすると、SN、レシーバーのファームウェアバージョン、およびリンクされたトランスミッターのファームウェアバージョンを表示します。

**コンプライアンス情報**
コンプライアンス情報を表示します。

 © 2024 DJI All Rights Reserved.

## 上へスワイプ - トランスミッターの制御

ホーム画面を上にスワイプして、録音状態、ミュート状態を表示および制御し、ノイズキャンセルを有効にします。ホーム画面の左側を上にスワイプしてトランスミッター 1 を制御し、ホーム画面の右側を上にスワイプしてトランスミッター 2 を制御します。




TX2 REC　タップしてスタンドアロン録音を開始します。TX2 REC が表示されている場合は、トランスミッターが単独で録音中です。もう一度タップすると録音を停止します。

タップするとトランスミッターをミュートできます。が表示されている場合、トランスミッターはミュートされています。もう一度タップすると、トランスミッターのミュートが解除されます。

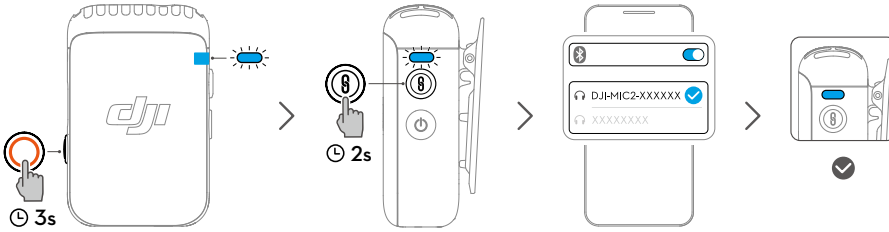
タップしてノイズ低減を有効または無効にします。が表示されている場合、ノイズ低減は有効になっています。もう一度タップすると、ノイズ低減は無効になります。

© 2024 DJI All Rights Reserved. 

## トランスミッターの Bluetooth 端末への接続

トランスミッターは、Bluetooth を介して DJI Osmo Pocket 3、携帯電話、その他のデバイスに接続できます。携帯電話に接続しているトランスミッターを例にとると、操作手順は次のとおりです。

1. 電源を入れた後、トランスミッターが Bluetooth 経由でリンクできる状態になっていることを確認します。トランスミッターがレシーバーとリンクする準備が整うと、トランスミッターのシステムステータス LED が緑色に点滅します。トランスミッターの録音ボタンを 3 秒間長押しして Bluetooth リンクモードにすると、トランスミッターのシステムステータス LED が青色にゆっくり点滅します。
2. トランスミッターのリンクボタンを 2 秒間長押しすると、近くの Bluetooth デバイスの検索が開始されます。トランスミッターのシステムステータス LED が青色に素早く点滅します。
3. モバイル端末で Bluetooth を有効にし、検索した Bluetooth 端末から [DJI-MIC2-XXXXXX] を選択してリンクします。
4. トランスミッターが Bluetooth 経由でモバイル端末と正常にリンクされると、システムステータス LED が青色に点灯します。



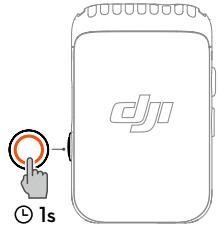

- トランスミッターへの Bluetooth 接続を介したビデオ録画には、サードパーティのカメラ、ビデオチャット、会議、またはライブストリーミングアプリをお勧めします。ネイティブカメラが Bluetooth 音声入力をサポートしていることを確認します。
- Bluetooth 経由でスマートフォンに接続した場合、トランスミッターのスタンドアロン録音機能とノイズ低減機能は使用できません。
- トランスミッターの USB-C ポートにより、デジタル信号ヘッドフォンに接続して携帯電話から音声を聴くことができます。

 © 2024 DJI All Rights Reserved.

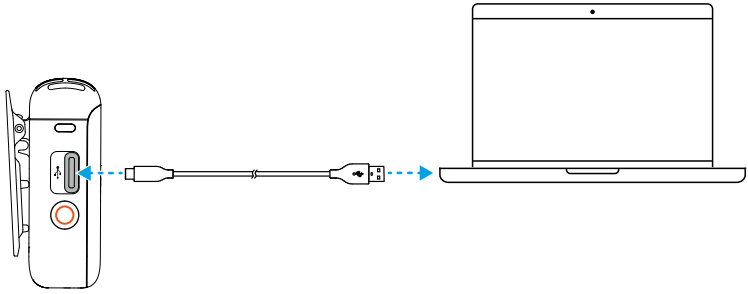
## トランスミッター用スタンドアロン録音

トランスミッターはスタンドアロン録音をサポートし、8GB のストレージを備えており、最大 14 時間の 48 kHz 24 ビット非圧縮の音声を可能にします。

トランスミッターの電源が入っている状態で、録音ボタンを押してスタンドアロン録音を開始し、もう一度を押して録音を停止します。




24 ビットモノラル WAV 音声を録音する際の、トランスミッターの合計録音時間は約 14 時間です。ファイルは 31 分ごとに自動的に分割されます。ストレージがいっぱいになると録音が停止します。32 ビットフロート音声を録音している間、トランスミッターの合計録音時間は約 11 時間です。ファイルは 23 分ごとに自動的に分割されます。録音した音声は、パソコンに接続した後でエクスポートまたは削除できます。内部ストレージはレシーバーを介してフォーマットすることもできます。



- トランスミッターのファイルシステムは、アロケーションユニットサイズが 16 KB を超えない FAT32 のみをサポートします。

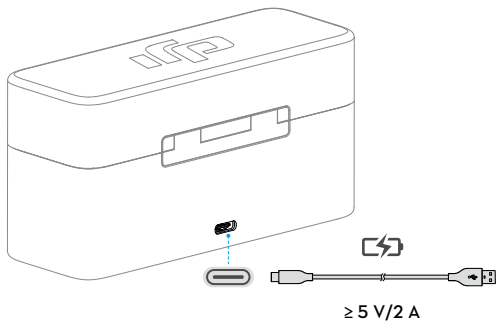
© 2024 DJI All Rights Reserved. 

# メンテナンス

## バッテリーの充電

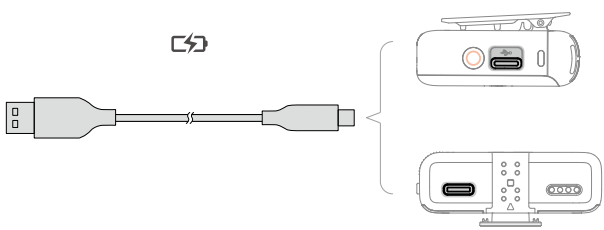
### DJI Mic 2 充電ケースでの充電

5 V/2 A 充電器を使用して充電ケースを充電することをお勧めします。充電ケースには、3250 mAh の容量のバッテリーが内蔵されています。トランスミッターとレシーバーを充電ケースに入れて充電を開始します。充電ケースが開いている場合、レシーバーには 3 つのデバイスのバッテリー残量とトランスミッターの残りの録音時間が表示されます。充電ケースから取り外すと、トランスミッターとレシーバーの電源が自動的にオンになります。




### トランスミッターとレシーバーの充電

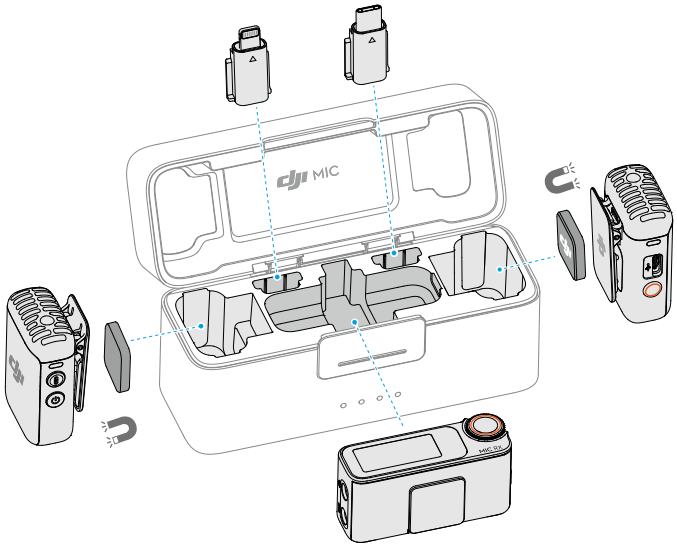
トランスミッターとレシーバーを DJI Mic USB-C スプリッター充電ケーブル経由で充電するには、5 V/1 A 仕様の充電ブリックを使用することをお勧めします。トランスミッターとレシーバーを完全に充電するには、約 70 分かかります。



## DJI Mic 2 の保管

DJI Mic 2 充電ケースには、クリップマグネット付きトランスミッター 2 台、モバイル端末アダプター 2 台、レシーバー 1 台を収納できます。モバイル端末アダプターは、レシーバーに取り付けて一緒に置くこともできます。

 © 2024 DJI All Rights Reserved.




## ファームウェア更新

新しいファームウェアが利用可能になったら、トランスミッターとレシーバーを一度に 1 つずつパソコンに接続してファームウェア更新をします。

ファームウェアの更新方法：

1. www.dji.com/mic-2/downloads の製品ページからファームウェアをダウンロードします。
2. 付属の USB-C ケーブルを使用して、トランスミッターまたはレシーバーをパソコンに接続します。パソコンに接続する場合、レシーバーはオフ状態である必要があり、トランスミッターはオン状態またはオフ状態どちらでも可能です。
3. ダウンロードしたファームウェア更新パッケージ .bin ファイルをトランスミッターまたはレシーバーのルートディレクトリに配置します。
4. パソコンから切断すると、レシーバーは自動的にアップグレードを開始します。アップグレードを自動的に開始するには、トランスミッターの電源をオンにする必要があります。アップグレードプロセス中は、システムステータス LED が赤と緑で交互に点滅します。
5. アップグレードが完了すると、レシーバーでファームウェアのバージョンを表示して、最新のファームウェアに正常にアップグレードされたことを確認できます。

ファームウェア更新に失敗した場合は、ファームウェアを再度ダウンロードし、レシーバーまたはトランスミッターを再起動して、上記の手順を繰り返します。ファームウェア更新が完了したら、レシーバーのファームウェアバージョンを確認して、ファームウェアが正常にアップデートされたことを確認します。

- 電源を入れた後にトランスミッターのファームウェアが自動的に更新されない場合は、トランスミッターにレシーバーを接続した後、レシーバーのタッチスクリーンで自動録音を無効にします。

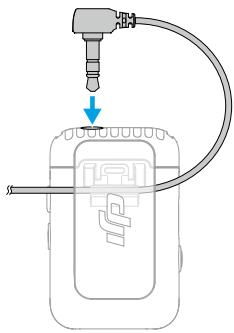
© 2024 DJI All Rights Reserved. 

# アクセサリー（別売）

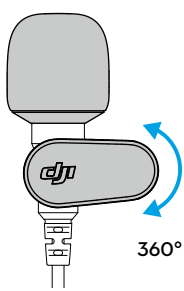
## DJI ラベリアマイク

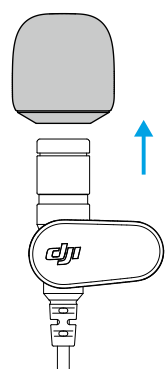
DJI Mic 2 トランスミッターは、DJI ラベリアマイクで使用するための 3.5mm TRS 入力を備えています。

使用中は、DJI ラベリアマイクの 3.5mm プラグを 3.5mm 入力ポートに挿入します。トランスミッターの内蔵マイクは使用できなくなり、DJI ラベリアマイクが音声入力として使用されます。



ラベリアマイクを装着する場合は、襟またはシャツの前面にクリップで留め、ラベリアマイクの上部が口から 15 ～ 20 cm 離れていることを確認します。マイクケーブルを衣服の内側に固定して、マイクが所定の位置に固定されていることを確認することをお勧めします。



- ラバリアマイクは 360° 回転できるため、衣服にカラークリップを柔軟に配置できます。
- ラバリアマイクのウィンドスクリーンを取り外すと、マイクが目立ちにくくなります。

 © 2024 DJI All Rights Reserved.

# 仕様

| | |
|---|---|
| **DJI MIC 2 トランスミッター** | |
| モデル | DMT02 |
| サイズ | 46.06×30.96×21.83 mm（長さ × 幅 × 高さ） |
| 重量 | 28 g |
| ワイヤレスモード | GFSK 1 Mbps と 2 Mbps |
| 等価等方放射電力（EIRP） | < 20 dBm |
| ワイヤレスモードの動作周波数 | 2.4000 ～ 2.4835 GHz |
| Bluetooth プロトコル | BR/EDR |
| Bluetooth 動作周波数 | 2.4000 ～ 2.4835 GHz |
| Bluetooth 伝送電力（EIRP） | < 20 dBm |
| バッテリータイプ | リチウムイオン |
| バッテリー容量 | 360 mAh |
| バッテリーエネルギー | 1.39 Wh |
| バッテリー電圧 | 3.87 V |
| 充電温度範囲 | 5℃～ 45℃ |
| 動作環境温度 | -10℃～ 45℃ |
| 充電時間 | 70 分 |
| 動作時間 | 6 時間 [1] |
| **DJI MIC 2 レシーバー** | |
| モデル | DMR02 |
| サイズ | 54.20×28.36×22.49 mm（長さ × 幅 × 高さ） |
| 重量 | 28 g |
| ワイヤレスモード | GFSK 1 Mbps と 2 Mbps |
| 等価等方放射電力（EIRP） | < 20 dBm |
| 動作周波数 | 2.4000 ～ 2.4835 GHz |
| バッテリータイプ | リチウムイオン |
| バッテリー容量 | 360 mAh |
| バッテリーエネルギー | 1.39 Wh |
| バッテリー電圧 | 3.87 V |
| 充電温度範囲 | 5℃～ 45℃ |
| 動作環境温度 | -10℃～ 45℃ |
| 充電時間 | 70 分 |
| 動作時間 | 6 時間 [1] |

© 2024 DJI All Rights Reserved. 

| DJI Mic 2 充電ケース | |
|---|---|
| モデル | DMC02 |
| サイズ | 116×41.5×59.72 mm（長さ × 幅 × 高さ） |
| 重量 | 200 g |
| バッテリータイプ | 18650 リチウムイオン |
| バッテリー容量 | 3250 mAh |
| バッテリーエネルギー | 11.7 Wh |
| バッテリー電圧 | 3.6 V |
| 充電仕様 | 5 V、1.5-3 A |
| 充電温度範囲 | 5° ～ 40℃ |
| 動作環境温度 | 5° ～ 40℃ |
| 充電時間 | 2 時間 40 分 |
| TX および RX の充電サイクル | 2 つの TXS と 1 つの RX を同時に充電する場合は<br>約 2 サイクル |
| **一般** | |
| 極性パターン | 全方向性 |
| 周波数応答 | ローカットオフ：50 Hz ～ 20 kHz<br>ローカットオン：100 Hz-20 kHz |
| 最大音圧レベル（SPL） | 120 dB SPL |
| 最大入力レベル（3.5 mm） | -6 dBV (THD<0.1%) |
| 等価ノイズ | 21 dBA |
| モニターインターフェースの出力電力 | 最大出力 12 mW@1 kHz、32 Ω |
| 最大伝送距離 [2] | 250 m (FCC)<br>160 m (CE) |

[1] 両方の TXS が RX に接続されていて、バックアップクリップを内部で録音せずに、RX がカメラオーディオケーブル (3.5mm TRS) 経由でカメラに接続されている状態でテスト。

[2] 障害物のない屋外、干渉のない環境で測定。

 © 2024 DJI All Rights Reserved.

お問い合わせはこちら

お問い合わせ
**DJI サポート**

本内容は予告なく変更されることがあります。

**https://www.dji.com/mic-2/downloads**

本書についてご質問がある場合は、DJI（**DocSupport@dji.com** 宛にメッセージを送信）までお問い合わせください。

DJI は DJI の商標です。
Copyright © 2024 DJI All Rights Reserved.